



2002年04月02日

フォルクスワーゲン ディーゼル テクノロジー2つ目の世界記録受賞

フォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社(略称:VGJ、代表取締役社長:梅野 勉)は、昨年6月28日～7月5日にかけて、フォルクスワーゲン ルポ 3L TDIを駆使して記録した、英国一周低燃費記録**42.29km/リッター**が、英国ギネスブック社より正式承認を受け、英国一周低燃費世界記録の認定証がチームリーダーの宮野 滋氏に到着したことを発表しました。

VGJ、及びドイツのフォルクスワーゲンAG (VWAG) と、英国のフォルクスワーゲン グループUK (VGUK) が共同でサポートした、英国一周低燃費世界記録へのチャレンジは、熊本の開業医で低燃費走行のエキスパート、宮野 滋氏率いる6ヶ国(日本、ドイツ、英国、ニュージーランド、カナダ、フランス)15名のインターナショナル チームが、ギネスブック社の認定コース(英国の海岸際を最大限走行する6,117km)を7日間かけて走破しました。この認定コースは、一般道及び高速道路を組み合わせ、日常の使い方と同様の条件を特徴としており、真直ぐで標高差が無く、渋滞が発生しないといった、低燃費の実現に適した道路条件とは全く異なります。今回の新記録達成には、ルポの数々の先進技術が大いに貢献したことを、同チームでは強調しております。今回の新記録は、1991年にダイハツ シャレード ディーゼル ターボが達成した、36.54km/リッターを、実に16%も上回る素晴らしい記録となりました。

ギネスブックの1ページに、フォルクスワーゲン ルポ3L TDIが足跡を残すことを可能にしたのは、フォルクスワーゲンのディーゼルシリーズの一つであるTDI(ターボディーゼル仕様車:Turbo Diesel Injection)に搭載されている、フォルクスワーゲン独創のポンプインジェクター技術によるものです。このシステムに採用されたポンプインジェクターは気筒毎に配置され、コモンレール式高圧ポンプを上回る約2,000バールの圧力で燃料を噴射する事によって、多大な燃費向上と、極めて優れた排ガス性能(EU4をクリア)を両立しました。尚、フォルクスワーゲン ルポ 3L TDIがギネスブック社から世界記録の認定を受けるのは、VWAGのチームが、2000年8月にゴールした“80日間世界一周”に次ぐ2件目となります。

宮野 滋氏は、同コースにおけるガソリン2輪車、4輪車、及びディーゼル2輪車の世界記録保持者であり、今回のディーゼル4輪車カテゴリーにおける世界記録認定により、英国一周世界記録は全て宮野氏率いるチームによって占められるという偉業を達成致しました。また今回のチームメンバーの中には、マクラレーンチームの創始者:ブルース マクラレーンの娘であるアマンダ マクラレーンも参加し、記録達成に大きく貢献しました。

このギネスチャレンジの模様を記録したプレスフォトは、VWインタラクティブ プレスクラブ:プレスフォト内のEvents欄にあります。閲覧並びにダウンロードしてご利用ください。